

美郷町学友館特別展

# 美術／中間子

# 小池一子の仕事と



衣服デザイン:三宅一生 テキスタイル・デザイン:ヨーガンレーン  
写真:大石芳野 1974年撮影

開催期間 ● 10月30日(土) ～ 12月12日(日)  
会場 ● 美郷町学友館

## MUJI IS — 動詞の森 — 展



美郷町学友館は1986年11月の開館からこれまで、芸術文化活動の発信拠点として町民から親しまれてきました。そこで今回の特別展では、日本を代表するクリエイティブディレクター・小池一子氏(1936年～)と、彼女が携わる「無印良品」のものづくりを紹介します。小池氏は1960年代からコピーライターとして、広告や雑誌の企画・編集を担当しました。1970年代からは展覧会の企画・運営にもかかわり、日本初のオルタナティブ・スペース「佐賀町エキジビット・スペース」を主宰して多くの美術家を支援しました。また1980年代には無印良品の発足にも参画し、素材の選択・工程の点検・包装の簡略化という、ブランドポリシーを構築しました。

会場では、小池氏がこれまで手がけた仕事からその活動を振り返るとともに、無印良品の考えが反映された商品を「動詞」に沿って紹介します。モノを生み出す、クリエイティブな世界の一端を感じてください。

開館時間 ● 午前9時～午後5時(入館は午後4時30分まで)

休館日 ● 毎週月曜日

入館料 ● 一般:500円(10名以上の団体は1名につき400円)  
高校生以下:無料

※10名以上で入場する場合は事前連絡が必要です。

新型コロナウイルス感染症対策を実施しますので  
ご協力をお願いします

- 発熱や風邪症状のある方の入場はご遠慮願います。
- 必ずマスクをご着用ください。
- 手指の消毒にご協力ください。
- 非接触型の検温を実施します。
- 名簿への記入をお願いします。
- 混雑防止のため入場を制限する場合があります。

問 ● 美郷町学友館 ☎0187(84)4040

# 新たに満12歳を迎える方の新型コロナワクチン接種について

町の公共施設において実施してきた新型コロナワクチン集団接種は、10月21日(休)で終了し、今後は医療機関での集団接種となります。9月1日以降に満12歳を迎える方のワクチン接種は、11月から下記の医療機関で実施します。対象の方には、誕生月の翌月以降に通知をし、希望医療機関等を取りまとめた後に接種についてご案内をします。

医療機関名	千畑クリニック	まっこいしや高橋醫院	仙南診療所
日程 (1回目接種)	【日曜日】 午前10時30分～午前11時	【金曜日】 午後2時～午後6時30分	【第2・4金曜日】 午後3時～午後5時

※町が取りまとめを行いますので、直接、医療機関への問い合わせはしないでください。また、1日あたりの接種人数に制限がありますので、医療機関を町で調整させていただく場合があります。

問●美郷町新型コロナウイルス感染症対策推進室 ☎0187(84)4900

## 感じ、考え、行動する

COLUMN  
WINDS  
コラム

# 風

美郷町長  
松田知己



令和3年第7回町議会定例会にて招集あいさつを述べる松田町長

♪巡る季節の中で、今年も秋が到来しました。新型コロナに振り回され、行楽やスポーツの秋と言っても気持ちが悪く、乗りにくい感じがしますが、せめて食欲と読書の秋は満喫したいところです。

その読書ですが、どう向き合うのかは、日頃の読書習慣が影響するように思います。「よく読む人はより多く、そうでない人はそれなりに」と、どこかで聞いたようなフレーズの向き合い方になるような気がしますが、会合などが少ない今だからこそ、チャンスです。ぜひ秋の夜長、多くの本に接していただきたいと思えます。

私は本が好きですので、より多くの本を読もうと思えますが、その本好きは「親父の背中」の影響です。とにかく本が好き

な父でした。さらにその父、つまり祖父も本が好きで、小学生の頃に何回も読んだ「三国志」は、祖父が購入した吉川英治全集のものでした。ちなみに小学生時代に読んだ本で一番影響を受けたのは、下村湖人の「次郎物語」です。「無計画の計画」という章がありますが、これは大学生時代の旅行にも影響を与え、良きにつけ悪しきにつけ、多様な経験に繋がる起点の一つになっています。

ところでこの「無計画の計画」という言葉、単語を変えると多様な分野で示唆に富む言葉に変化します。例えば「無意識の意識」や「無反応の反応」。分野によつて示唆の方向に正負の違いが生じますが、いずれ考えるきっかけになります。具体的に日常生活

活での自然環境への負荷、ネットの匿名情報への対応などで考えてみれば、その示唆の意味合いが理解しやすいように思うところです。

こうした意識を包含し、今月末から「美術／中間子 小池一子の仕事とMUSEI—動詞の森—展」を学友館で開催します。日本を代表するクリエイティブデザイナー小池一子さんが「無印の印」に注入した意識、そしてモノを生み出していく方向などを広くご覧いただき、感じ、考えるきっかけにさせていただきたいと思えます。

さらに、感じ、考えた先には何らかの行動が待っています。企画展を通じ、まちづくりへの具体行動に繋がることも期待しています。